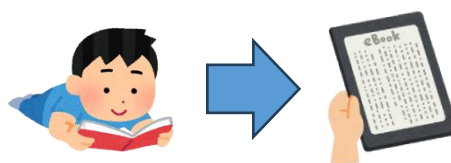


リハビリ通信

“やりたい”を叶える ～もう一度、読書がしたい～

暖かな陽気に包まれ、今年も当センターの中庭には、こいのぼりの家族が悠々と泳ぐ姿が見られるようになりました。今回は、入所作業療法（OT）部門から、利用者さまの「好き」を支える趣味・余暇活動支援についてご紹介します。

入所されているAさんの趣味は読書です。



以前は、うつ伏せの姿勢で読書を楽しまれていましたが、体調の変化により、その姿勢をとることが難しくなっていました。その後、病棟職員と一緒に仰向けの姿勢で読書を練習してきましたが、なかなか思うようにいかず、もどかしい日々が続いていました。

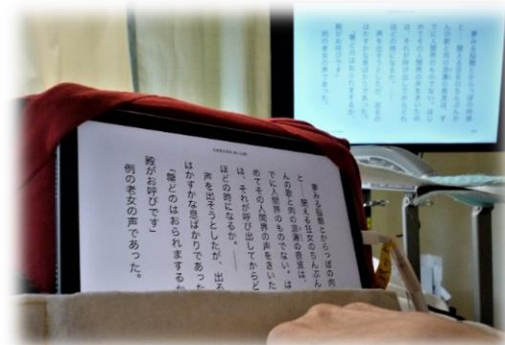
そこで、ご家族から本人への提案もあり、作業療法士の支援のもとで電子書籍を取り入れることになりました。まずは、病棟職員やご家族と相談し、協力を得ながら、読書が再びできるための環境を整えていきました。

作業療法における趣味・余暇活動支援は、その人らしい生活を取り戻すための大切なリハビリテーションです。Aさんが大切にしていることは「**できるだけ自分の手でページをめくりたい**」という強い想いでした。そのため、Aさんの現在の手の動きを丁寧に確認し、いくつかの操作方法を提案しました。その中からAさんご自身が選ばれたのは、タブレットを指でスワイプしてページをめくる方法でした。それから、作業療法の時間に、実際の手の動きに合わせてスワイプできるよう、設定の調整や操作の練習を重ねていきました。

現在は、仰向けの姿勢で、タブレットをテレビ画面に繋いで大きく映し出し、本そのままの迫力を楽しみながら読書を続けています。

「病気や障害があるから諦める」のではなく、

「どうすれば今の力で楽しめるのか」を一緒に見つけること。



私たち作業療法士はこれからも、利用者さまの「やってみたい」「楽しい」という気持ちを大切に、日々の活動をサポートしてまいります。

(リハビリテーション科 作業療法士 田邊)